

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年3月28日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105230
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ新屋敷
所在地	鹿児島県鹿児島市新屋敷町4番1号 (電話) 099-222-0321
自己評価作成日	平成31年2月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年3月11日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市中心部に位置していますが、甲突川河畔に近く、春には満開の桜を眺めながら散歩を楽しめたりと、季節感を感じられる環境にあります。入居者様のしたいこと、出来る事を尊重したケアを目指し、自立支援を念頭に置き、入居者様が、安全、安心に毎日の生活が送れるようなケアを実践できるようにしています。食事以外の時間は特に決めず、個々のリズムで生活できるよう支援し、外出などの希望も出来る限り多く作れるようにしています。食事には力を入れており、季節に応じた旬の食材を提供し、行事の際には職員全員で考えた特別メニューを提供しています。二ヶ月に一度運営推進会議を開催し、地域の方々と交流を図れる機会を作っています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは地域交流を心がけ、町内会主催の花見や愛護会の子供たちとの交流会・餅つきなどに参加し、地域との連携・協力関係ができています。ホーム行事には地域住民の参加が得られている。近隣保育園児との交流会は、利用者の表情も明るくなっている。
- ・ホームは家庭的な雰囲気があり、利用者・家族・職員との関係性が良く、年末には家族参加による大掃除が行われている。
- ・職員は利用者一人ひとりとじっくりコミュニケーションを図り、思いを傾聴し、自立支援型のケアを実践している。
- ・管理者は職員が身体的負担を軽減し、安全に働ける事を心がけ、働きやすい環境づくりを心がけている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人全体と事業所の理念があり毎日朝礼時に唱和をし職員1人1人の意識付けを行っている。	法人全体の理念と事業所独自の理念が有り、事務所やフロアに掲示し、パンフレットにも掲載している。地域交流を心掛け、年末に各自、目標の達成度や利用者と共に寄り添いケアができたか、振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事（花見、餅つきなど）に参加できるように支援している。また、ホーム内の行事に地域ボランティア（舞踊やコーラスなど）に参加いただき忘年会や花火大会などお招きし交流の場を設けている。	町内会に加入し総会に出席したり、地域行事の清掃活動や花見・餅つき等に参加し、ホームの行事には舞踊やコーラスのボランティアを受け入れている。保育園児の訪問や看護学校生・福祉科の高校生の実習の受け入れ、地域愛護会の子供たちとの交流もある。散歩時の挨拶や野菜の差し入れ等、日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議において年に1回認知症をテーマにした勉強会をしており、ニュースなどを取り上げて意見交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議においてホームの現状報告や行事の報告を行い参加して頂いている地域の方や長寿安心センターの職員、ご家族からのアドバイスもいただいている。また、行事予定もお伝えし協力いただいている。</p>	<p>会議は定期的にテーマを決めて開催し、利用者の状況や行事活動をスライドをテレビ媒体で紹介している。事故報告や外部評価調査結果も報告している。年2回の家族会と忘年会を同日に開催している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>長寿安心センターの職員に運営推進会議に参加いただいている。市の介護相談員による年1回の入居者様への個別面談の受け入れも行っている。</p>	<p>市担当者とは直接窓口に出かけ報告や書類の事項を確認したり、電話で相談するなど日常的に連携し協力関係にある。介護相談員の受け入れで情報の共有を図っている。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>年に1度ホーム内で身体拘束の勉強会を行いどのようなことが身体拘束に当たるのかをしっかりと意識できるようにしている。また、毎月のミーティングでは身体拘束廃止委員会を開催し身体拘束がなかったか確認を行っている。</p>	<p>法人での研修会とホームでスピーチロックのグレーゾーン言葉について勉強会を実施している。毎月身体拘束廃止委員会を開催し協議している。日中の玄関の施錠はしていない。家族の同意でセンサー使用している。見守り支援で外出行動がある場合は傾聴したり、職員と一緒に散歩の支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	年に1度ホーム内で虐待防止についての勉強会を行い高齢者虐待防止法について勉強している。毎月のミーティングでも虐待がなかったかの確認を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	年に1度ホーム内で権利擁護や成年後見制度について勉強している。必要に応じてご家族に対し管理者より情報提供を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際に重要事項説明書をもとに事業所としてできない事を具体的に説明し同意を得るようにしご家族の気になることについても十分な説明を行うことで理解・納得をして頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会を年2回開催し運営推進会議を同日に開催することで普段の運営推進会議よりより多くのご家族に参加いただき意見・要望など出していただいている。内容によってその場で意見交換を行ったり職員ミーティングで話し合いを行っている。	本人から暮らしの中で要望や希望を聞いている。家族からは家族会や面会時に、家族からの情報を報告し対応を話し合っている。各居室に連絡ノートを置き、意見を表せる機会を設けている。2ヶ月毎に「しんやしき新聞」を郵送し意見交換している。意見を反映して清掃を徹底し衛生的な環境で過ごせるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングに限らず日頃から各職員の意見を聞き相談しやすい雰囲気づくりに努めより良いサービスの提供に向けて反映できるようにしている。</p>	<p>毎月合同のミーティングや各ユニットで意見を聞いている。日頃から職員に声かけし思いを聴いたり、声かけしやすい雰囲気作りをしている。必要時、個人面談もしている。職員も管理者には意見を言いやすく、シフト時間帯の改善に繋げている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得者に手当の給付があり就業規則の見直し改善がなされている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月のミーティング時に勉強会を行っている。また、法人全体での勉強会や法人外の勉強会への参加の案内など行い研修によっては費用の法人負担も行われている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同法人内の別ホームへの助勢に行くことで他の事業所のサービスに携わりサービスの向上に努めている。月に1回他ホーム職員との交流会(食事会)があり情報交換の場が設けられている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族はもちろんの事本人にもできるだけ一緒に見学に来ていただきどのような環境なのか見ていただき気になることは聞いていただけるような話しかけを行うことで少しでも不安を軽減できるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前よりご家族の思いを引き出せるように努め事業所としての対応を話し合い気になることがあるときはいつでも聞いていただけるような関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人とご家族がまず何を必要としているのかをしっかりと把握しそれに添った支援を行っている。希望があれば他サービスの利用を紹介し活用して頂いている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>安心して過ごせる落ち着いた場所として過ごしていただけるように、自分にも役割があることを自覚していただけるよう家事手伝いなどそれぞれのできる範囲を見極めながらスタッフと一緒にやっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人とご家族のかかわりを大切にし、行事や食事会などは参加のお誘いをしスタッフも交えて交流を図るいい機会となっている。面会時は日ごろの様子などをお伝えしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人などの面会がある場合は気軽に話ができるような環境づくりを行っている。コミュニケーションが難しそうな場合はスタッフが手伝いを行うこともある。	入居前の生活歴や家族・友人・知人の情報から、楽しかった思い出などフェイスシートに記入し、職員全員が把握している。理美容院や墓参り・買い物・外食等、家族の協力が得られ馴染みの人や場との関係継続の支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	生活のリズムや話が合うかなど相性なども考えながら座席の配慮を行いスタッフが会話のきっかけを作ったり会話の方向転換をすることでトラブルが起きないようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了しても本人、ご家族からの相談があった際には一緒に考えたり支援を行ったりすることで節目の際にはご挨拶できるように関係の維持に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で言動・表情等から本人の意向や思いを汲取り希望に添うよう努めており意思疎通が困難な方は言葉・表情に加え家族から情報を得る等して対応できるよう心掛けている。	日々の関わりの中で、思いや意向を聞き申し送りノートに記入し職員で共有している。困難な場合は仕草や足踏み等の動作や表情の変化を、日々モニタリングしながら本人中心に検討し対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人ご家族他からの情報提供に加え日々の生活の中でこれまでの生活歴を話題にしたり行動パターンを観察するなどし把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りや記録を通し日々の状況や生活リズムなどを確認しスタッフ1人1人が把握できるよう努めている。また、本人のペースに合わせて臨機応変なケアができるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	状態変化の際に本人、家族、スタッフにおいて話し合い介護計画を作成。日頃からスタッフやご家族と日常のちょっとした変化についても話し、定期的な個別モニタリングも行っている。	本人や家族・主治医・薬剤師からの意見をもとに職員と話し合い、身体状況や思いに寄り添った介護計画を作成している。毎月のモニタリングと6ヶ月毎に定期的に見直している。状況変化時はその都度見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	パソコンでケアの記録や気づきなどを介護記録に入力し食事量・排泄の有無・水分量などは個別ファイルにて管理し、各スタッフが必要な時に確認できるようにしている。共有事項などは申し送りノートを業務前に確認している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の希望によりフットケア、訪問歯科、皮膚科の往診などの受け入れを行っている。必要に応じ個別の買い物同行なども以前は行っており、必要となる支援は柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々や長寿安心センターの職員とも運営推進会議などで交流が持っており地域の資源などについても情報をいただき町内会主催のものにも参加させていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からのかかりつけ医を希望された場合はそれが続けられるようご家族の協力も得ながら支援行っており、複数の関係医療機関との連携を図り適切な医療を受けられるように環境を整えている。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。家族や職員同伴の外来受診、協力医療機関に月1回定期的外来受診し健康管理を行っている。歯科医の訪問診療や他科専門外来受診は基本的に家族同伴であるが職員同伴もあり、適切な医療が受けられるよう24時間ホットライン体制で支援している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関に24時間電話での対応ができるホットラインがあり対応して頂いている。</p>	/	/
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>定期的に訪問し少しでも安心して入院中も過ごしていただけるように医療機関への情報提供を行っている。また、本人の状態の把握ができるように病院関係者との連携を図り情報交換を密に行っている。</p>	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人の意思を尊重し主治医やご家族、スタッフでできる事などを話し合いを行い、ホームとしてできる事できない事の説明を随時行い同意を得ながら取り組んでいる。</p>	<p>事業所としてできることを説明し、状態変化時は主治医と相談しながら、遠方家族には常に状況をメールで報告し、方針を共有しながら支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>安全対策マニュアルを作成し見直しを行っている。年1回の救命救急の講習を実施。ケースカンファレンスを行っている。</p>	/	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回昼間と夜間想定で火災避難訓練、年1回水害避難訓練を実施 火災避難訓練においては消防署、消防団、地域の方々にも参加して頂いており協力体制を気づいている。</p>	<p>消防署立会と地域消防団と一緒の年2回昼夜間想定で地域住民の参加を得て避難訓練を実施している。水害と地震災害の避難訓練を自主訓練している。防災頭巾を常時背もたれ椅子に備えている。災害時は2階に水・無洗米・ふりかけ・乾麺・カレー等を備蓄している。カセットコンロもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ほこりやプライバシーを尊重するような接遇を心がけており状況に応じさりげない声掛けや時間をおいての声掛けなどその時々に応じて行っている。	年1回法人全体で法令遵守についての研修会がある。マニュアルがあり接遇について勉強会もしている。トイレ排泄や入室時など利用者の誇りやプライバシーを損ねないに声かけや対応をしている。着替え準備なども自己決定しやすいようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が自己決定しやすいような質問の仕方に変えたり言葉だけではなく表情や行動などによる訴えやメッセージにも気づけるよう気を付けて接している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるがそれぞれのペースを大切にしやりたい事やりたくない事をその時々で見極めて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎朝起床時には洗面整容を本人のできる範囲はして頂きできない部分はお手伝いしている。着替えの際着たいものを選んで頂けるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>状態にあった食事形態を考慮し好みや嗜好品も大切にしている。簡単な野菜の下ごしらえなどできる範囲での調理の手伝いもして頂いている。</p>	<p>献立は職員が作成し、食事形態としてミキサー食や粥、代替食、補食など、利用者の嚥下機能を考慮し、食事を楽しむことのできる支援をしている。利用者は食事の後片付けとしてお盆拭きを手伝っている。季節の行事食や誕生会・外食・弁当持参で施設外での食事を楽しんでいる。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後、お茶の時間後は必ず摂取量の記録を行い水分制限がある方はきちんと量って提供している。また栄養価が足りない方にはエンシェア処方など医療面からもフォローしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後口腔ケアの声掛けを行っている。介助が必要な方にはスタッフが介入し本人の力に応じたケアを行っている。歯科受診、訪問歯科の利用も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人の排泄の訴えや行動パターン排泄パターンにより声掛けを行いトイレでの排泄ができるよう支援している。必要に応じて2名での介助も行っている。	毎食前や個別に排泄パターンを把握しトイレでの排泄支援をしている。リハビリパンツに個別に応じてパットの種類を考慮し支援している。日中、尿意がない利用者に声かけトイレ誘導することで失禁回数が少なくなった事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事メニューに野菜を多く取り入れたりおやつにヨーグルトを提供して便秘予防に努めている。便秘が続く方には腹部マッサージや場合によって医療面からフォローしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まっているが気持ちよく入浴していただくため体調や気分により入浴日の変更も行っている。体調に波のある方は特に注意し入浴の時間帯等も考えながら入浴を行っている。	週2～3回の入浴で1階は午前、2階は午後から支援している。希望に応じて同性介助や危険リスクが高い場合は2人対応である。個別に主治医の許可でシャワーチェアを使用し支援している。入浴拒否時は、時間帯の変更や職員交代、翌日変更で支援している。爪白癬や浮腫がある場合は足浴支援や清拭支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれの生活ペースで休めるよう支援している。日中適度に体を動かすことで安眠につながるような支援も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容（目的、用法、用量、副作用）を把握できるよう処方薬のファイルを作成スタッフ1人1人が使用している薬の理解を深めスタッフ間で情報を共有し確実に服薬できるよう飲み込みまでの確認も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様とのコミュニケーションの中で新たな個々の能力、役割、好奇心が発見できるように会話の内容や入居者同士の場の提供に努め、楽しみや気分転換ができるよう個々に応じた支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者本人の希望により近所のスーパーへ買い物に行ったり公園へ散歩に行ったりできるだけ外出機会が持てるようにしている。また、外出行事としてマイクロスバス等を使用した外出も行っている。	日常的に天気の良い日は近隣の公園へ散歩に行ったり、買い物に出かけたりしている。出かけられない利用者は外気浴支援をしている。甲突川沿いでの花見・大型バスでそうめん流しに出かけている。車椅子対応で水族館や西郷どん記念館に行くなど希望に応じた支援をしている。地域行事の餅つき大会や子供たちとの交流会に参加したり、家族の協力で墓参りや買い物・外出・外泊など、支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の協力を得て少額のお金をもっている入居者もおり一緒に買い物に出かけた際は本人がお金の支払いができるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者より電話の希望があった時は支援を行いご家族から電話を本人への取次も行っている。手紙やはがきなどは必要な方には代読を行うこともある。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日の清掃のほか温度、湿度の確認を行い必要に応じて加湿、除湿等気持ちよく快適に過ごしていただけるような環境づくりに努めている。</p>	<p>玄関にはメダカの水槽や行事時のスナップ写真が掲示してある。広いホールは清潔でウイルス感染防止の加湿器が作動し、温湿度も快適に調整されている。季節の花も飾られ、壁には行事時の写真や利用者与合作の干支のちぎり絵などが掲示されている。和室もある。ソファがあちこちに置かれ居心地よく過ごせる環境となっている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール内には畳の部屋やソファが複数個置いてありいつでも好きなところで過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>仏壇やテーブル、タンスなど馴染みの物を持ってきていただき本人、ご家族と相談し快適に過ごせるよう尚動線が短く必要なものが取り出しやすい様本人の状態など考慮し必要に応じて変化させながら配置している。</p>	<p>楕円形の名前の表札で居室は個々の状態に応じてベットやエアコン・タンスが設置されている。仏壇・家族写真・祝いの額などが掲示され、洋服掛け・ドレッサー・小型の冷蔵庫・小物等が持ち込まれ、家族もゆっくり過ごせるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリーやホール、トイレ内の手すり等の設備のほかに必要に応じて車いすの利用も行っている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない